

第2学年国語科学習指導案

児童 2年1組 男13名 女21名 計34名
指導者 中村 幸子

読み取った内容や自分の考えを確かなものにするために対話を生かす指導の在り方

1 単元名 お話を楽しもう (教材名「スーホの白い馬」 光村2年下)

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、「お手紙」の学習において、会話文や人物のしたことに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子を想像して読む学習をしてきた。この学習を通して、児童は、文中の主語と述語に気をつけて読んだり、叙述に沿って想像を広げて読んだりすることができるようになってきた。

読むことの学習における対話活動では、「大事なことを落とさないで聞こう」という意識が見られ、聞き取った内容を復唱することができるようになってきた。また、対話をすることで自分の考えに自信をもったり、相手の話から新しい考えに気づいたりすることのよさを味わっている児童が多い。

本単元では、対話を通して教材文から読み取った内容や自分の考えを伝え合ったりすることで、理解をより確かなものにしていきたい。

(2) 主たる指導事項と学習材

(P 1 1 参照)

(3) 指導に当たって

(P 1 1 参照)

3 単元の目標

(P 1 2 参照)

4 単元の評価規準

(P 1 2 参照)

5 学習指導計画 (15時間扱い)

(P 1 2 参照)

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・白馬の様子やスーホの言動から、白馬が帰ってきたときのスーホの気持ちを読み取ることができる。

(2)

・展開

段階	学習活動 (○発問・指示)	時間	◇学習内容	教師の関わり方 ☆評価(方法)
みとおす	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 白馬が帰ってきたときのスーホの気持ちを考えよう。 </div>	5	◇殿様に白馬を取り上げられたスーホの気持ちと、スーホのもとへ帰る白馬の様子を想起する。	・白馬のことばかり考えていたスーホ、「それでも」走り続けた白馬の様子や気持ちを想起させ、本時の課題へとつなげる。
ふかめる	3 学習場面を読む。 4 白馬がスーホのところに帰ってきた時の様子を読み取る。 ○白馬は、なぜ、「走って、走って、走り続けて」帰ってきたのでしょうか。 5 白馬が帰ってきたときのスーホの気持ちを読み取る。 (1)スーホの様子が分かるところを視写し、その中の語句を選ぶ。 (2)選んだ語句を根拠にし、対話をしてスーホの気持ちを想像する。 (3)対話したことを全体で聞き合う。 ○「ぼくの白馬」とは、スーホのどんな気持ちが入っているのでしょうか。	10 20 5	◇白馬が傷ついている様子を読み取ること。 ・矢が「何本も」「つきささっている」 →傷の深さ、傷だらけ、ひどいきず ・「あせがたきのようにながれ」 →白馬は長い距離を休まず走り続けた疲れている、弱っている ◇白馬のスーホに対する気持ちを読み取ること。 ・スーホといつも一緒にいたいから。 ・早く「大好きなスーホ」のところに帰りたいから。 ◇白馬が帰ってきたときのスーホの気持ちを読み取ること。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・私は、「はを食いしばりながら」の言葉から、スーホの気持ちを考えました。スーホは、深く突き刺さった矢を抜くと白馬が痛いのではないかと思って、つらかったと思います。スーホはつらい気持ちを我慢して矢を抜いたと思います。 ・○○さんは、スーホが我慢して矢を抜いたと思ったのですね。私は、矢が「突き刺さって」いるから力を入れて抜いたと思いました。○○さんの話を聞いて、力を入れるだけでなく、白馬の痛みを自分のことのように「我慢している」というスーホの気持ちが分かりました。 </div> ◇白馬に対するスーホの愛情の深さに気づくこと。	・主語と述語に気をつけて、白馬の様子が分かる言葉に着目させる。「矢が何本もつきささり」「あせがたきのようにながれおちて」という言葉を手がかりに、白馬が傷つきながらもスーホのところに帰ってきた様子を読み取らせる。 ・「走って、走って、走り続けた」「大好きなスーホ」という言葉に着目させ、白馬がスーホを慕う一途な気持ちを読み取らせたい。 ・対話によってスーホの気持ちを考えさせる。視写文の中からスーホの気持ちが分かる語句に着目させ、その語句を根拠に対話を進めさせたい。また「ぼくの白馬」という言葉に込められた思いを考えさせ、スーホの白馬に対する愛情の深さ、それゆえの悲しみに気づかせたい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ☆叙述をもとに場面の様子や登場人物の気持ちについて、想像を広げながら読んでいる。(発言、挙手、ノート) [努力を要する児童への手立て] 言葉の意味を具体的に教え、スーホはなぜ、そうしたのか、なぜ、そう言ったのかを考えさせる。 </div>
まとめる	6 本時の学習のまとめをする。	5	◇スーホの気持ちを考えながらまとめの音読をすること。	